



日本財団事業

# WTTTC会議バンコク概要

—WTTTC会議バンコク開催報告書—

2017年5月

公益社団法人 日本観光振興協会

# 1. サミット会議バンコク開催概要

## 1.1 サミットバンコク開催の背景と目的

WTTTCの国際サミットは、17回目を迎え、2017年の持続的な国際観光開発年内の、観光関連プライベートセクターの中心的なイベントである。テーマを“TRANSFORMING OUR WORLD”「世界の変革」とし、観光、ツーリズムの力で、経済、地域、生活を2030年への持続的な発展へ向けてのチャレンジのスタートとして位置づけ、持続的な未来に向けての観光セクターの積極的な貢献を確かにするものである。

## 1.2 国際観光会議開催要旨

### (1) 組織概要

WTTTC（世界旅行ツーリズム協議会）とは、世界規模で活動する唯一の観光関連企業の団体。世界のホテルや航空会社、運輸機関、旅行会社などツーリズム産業関連企業のトップ100名で構成されている。毎年、国際機関や各国政府、国内外の経済団体やメディアなど約1000名が集う大規模な国際会議を開催。規模の大きさと多様性から「観光分野のダボス会議」と称されている。

### (2) 会議名称

World Travel & Tourism Council

The Global SUMMIT BANGKOK, Thailand 26-27 April 2017

世界旅行ツーリズム協議会 世界グローバルサミット タイ国 バンコク

### (3) 会議期間／場所

開催日：2017年4月26日（水）及び27日（木）

開催場所：タイ国 バンコク

### (4) テーマ

“Transforming Our World” 「世界の変革」

### (5) 会議開催目的

- 1) 2017年は、持続的観光開発が、国際的なテーマとなっており、それに基づいた新規マーケティング戦略及び取組を議論する。
- 2) 協議会の重要なテーマである「旅の自由」を進めるための課題について情報を共有、討議する場とする。
- 3) 将来を見据えて「明日のツーリズム」のための施策を考える場とする。

### (6) 会議参加者数

約923名（59カ国）

## (7) 日本側参加メンバー

1. 飯田 祐二	(一社) 日本旅行業協会	国際センター	副所長
2. 野澤 肇	株式会社 JTB 総合研究所		代表取締役社長
3. 岡田 美奈子	株式会社 JTB 総合研究所	コンサルティング事業部	研究員
4. 高松 正人	株式会社 JTB 総合研究所		常務取締役
5. 伊東 和宏	日本政府観光局 (JNTO)	バンコク事務所	所長
6. Siriporn BUNDITJIRAKUL	日本政府観光局 (JNTO)	バンコク事務所	マーケティング・マネージャー
7. 杉崎 雄介	読売新聞東京本社	バンコク駐在事務所	所長
8. 武藤 修一	株式会社ジェイテーパー	総務部	総務担当部長
9. 川口博子	株式会社ジェイテーパー		田川会長通訳
10. 池田 伸之	株式会社ジェイテーパー	国内事業本部 法人事業部観光戦略チーム	観光戦略担当部長
11. 座間 久徳	株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル		代表取締役社長
12. 吉村 久夫	株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル		取締役
13. 田川博己	株式会社ジェイテーパー		代表取締役会長
14. 古澤徹	株式会社ジェイテーパー	グローバル事業本部	国際部長
15. 黒澤 信也	J T B Pte Ltd (アジア・パシフィック本社)		代表取締役社長
16. 武井 一樹	J T B Pte Ltd (アジア・パシフィック本社)	企画部	取締役企画部長
17. 東海林 秀和	JTB カンボジア支		支店長

	店		
18. 野中 正朗	JTB ニュージーランド	オークランド支店	取締役社長兼オークランド支店長
19. 木村 洋介	JTB マレーシア	クアラルンプール本社	取締役社長
20. 笠原 昌哉	JTB オーストラリア		取締役社長
21. 三ツ井愛絵	JTB インドネシア社		社長
22. 水越 三千哉	クラクラバス		代表取締役
23. 谷 光	JTB タイランド		取締役社長
24. 鬼頭 淳一	JTB タイランド	営業企画部	シニア・マネージャー
25. 岡澤 隆史	JTB タイランド		シニア・マネージャー
26. 熊田 順一	株式会社 JTB 総合研究所	コンサルティング事業部	コンサルティング第3部長
27. 岡田圭介	ANA ホールディングス株式会社		常勤顧問
28. 寺井 裕	全日本空輸株式会社	バンコク支店	支店長
29. 秋保 哲	全日本空輸株式会社	マーケティング計画部	マーケティング・マネージャー
30. 吉川 健一	株式会社ブリックス		代表取締役社長
31. 吉川 笑生	株式会社ブリックス	事業本部運用部	部長
32. 瓦林 康人	観光庁		審議官
33. 山崎 道徳	日本政府観光局 (JNTO)		理事
34. 山田 怜	日本政府観光局 (JNTO)	バンコク事務所	次長
35. 石原 敬基	日本政府観光局 (JNTO)	バンコク事務所	次長
36. 志方 紀雄	株式会社 航空経営研究所		主席研究員
37. 三宮維光	株式会社ジェーシービー・インターナショナル		代表取締役副会長
38. 筒井俊博	株式会社ジェーシービー	ブランド事業統括部	次長
39. 道島尚哉	JCB International		Managing Director

	(Thailand) Co., Ltd.		
40. ヴィクター大隅 勝利	(株)プリンスホテル	営業部・事業開発部 担当	常務執行役員
41. 上島 正弘	(株)プリンスホテル	営業部	課長補佐
42. 後藤 高志	(株)西武ホールディ ングス		代表取締役社長
43. 楠見 晴俊	プリンスホテルタイ ランド		取締役
44. 島川 崇	東洋大学	国際観光学部	教授
45. 永井 恵一	東洋大学	国際観光学部	研究員
46. 黒田 英朗	東日本旅客鉄道(株)	総合企画本部観光戦 略室	室長
47. 大西 賢	日本航空		取締役会長
48. 森本 斉	日本航空	バンコク支店	支店長
49. 福元 秀文	日本航空	秘書部	会長秘書
50. 藪本 祐介	日本航空	広報部	マネージャー
51. 澤山 英治	日本航空	旅客販売統括本部	部長
52. 高山 傑	(株)スピリット・ オブ・ジャパン・ト ラベル		社長
53. 三宅浩史	在タイ日本大使館		公使参事官
54. 小林伸行	在タイ日本大使館		一等書記官
55. 小澤 正寛	株式会社百戦錬磨		インバウンド推進デ ィレクター
56. 鈴木 重行	ツアーイストホールディ ングス		取締役社長
57. 中村 慎一	日本観光振興協会	国際交流推進室	室長
58. 杉野 正弘	日本観光振興協会	国際交流推進室	担当部長

## 2. WTTC 本会議及び専門家部会、プレスコンファレンス

ジェラルドローレス会長、UNWTO リファイ氏、タイのプライユット首相の出席のもと開会式が行われ、スコウシル氏の開会の挨拶で始まり、イギリス前首相のカメロン氏の基調講演が行われた。

### 2.1 WTTC 本会議プログラム

#### (1) 会議テーマと登壇者

一日目

プログラム、主旨	登壇者
開会式 13:00	Gerald Lawless, Chairman, world Travel& tourism Council(WTTC) Taleb Rifai, Secretary-General, World Tourism Organization (UNWTO) H.E.General Prayut Chan-o-cha, Prime Minister, Kingdom of Thailand
開会の挨拶 13:30	David Scowsill, President & CEO, WTTC
国家の変容-グローバルイゼーションは達成されたのか？- ＜世界の現状と、今後の政府、産業界の役割＞ 13:40	Rt Hon David Cameron, Prime Minister of the United Kingdom from 2010 to 2016 Interviewer: David Scowsill, President & CEO, WTTC
世界の変革 -持続的な開発のためのグローバルアジェンダ- ＜2030年の世界の姿は？ SDG's 達成に向けてのツーリズムの役割は？＞ 14:20	Ian Goldin, Professor of Globalization and Development, University of Oxford Keith tuffleym Managing Partner & CEO, The B team Moderator:Nick Ross
国家主義の時代のグローバルの主張 ＜国家主義が台頭する中で、経済成長と雇用を生み出すツーリズム産業をいかに守るか？＞ 15:05	Arne Sorensen, CEO, Marriott International

<p>変革のパートナーシップ-共に活動する力-          &lt; UNWTO と WTTC の今後の連携のあり方 &gt;          15 : 40</p>	<p>Taleb Rifai, Secretary-General, World Tourism Organization(UNWTO)</p>
<p>モデル形成-変化する世界の中での、旅行及びツーリズムのあり方-          &lt; WTTC メンバーより、現在の業界での変化の現状と、将来についてコメント &gt;          15 : 55</p>	<p>Desiree Bollier, Chair, Value Retail Management, Value Retail PLC          Pansy Ho, Managing Director, Shun Tak Holdings Limited          Rob Rosenstein, CEO, Agoda          Moderator: Stephen Sackur</p>
<p>リーダー達の展望          &lt; SDG's 目標の達成へのツーリズムの貢献 &gt;          16 : 25</p>	<p>SDG#16: Peace          Claire Bennett, Executive Vice President Global consumer Travel and Lifestyle services, American Express Company          SDG#12: Sustainable Consumption And Production          Gary Chapman, President Group Services &amp; dnata, Emirates Group          SDG#8: Economic Growth And Decent Work          James Riley, CEO, Mandarin Oriental Hotels          SDG#1: +No Poverty          Hiromi Tagawa, Chairman of the Board, JTB Corp.</p>
<p>中国-長期的な展望          &lt; 最大のマーケットである中国マーケットの今後の持続的な成長について &gt;          16 : 35</p>	<p>GE Huayoung, chairman, Union Pay          WU Jian, Co-Founder and President, LY.com          Moderator : Linda Yueh</p>
<p>インド人の視点から          &lt; インドの旅行マーケットにおける持続性とは? &gt;          17 : 05</p>	<p>Amitabh Kant, CEO, NITI Aayog</p>
<p>現代の生活の規則          &lt; 様々のスタイルの旅行者へのインタビュー &gt;          17 : 20</p>	<p>Sir David Tang, Global Entrepreneur          Interviewer : Geoffrey J W Kent, Founder, Chairman &amp; CEO Abercrombie &amp; Kent</p>
<p>1日目終了</p>	

## 2 日目

プログラム、主旨	登壇者
<p>旅の自由 ASEAN 諸国はその先駆となれるのか？ ＜WTTC の旅の自由キャンペーンを進める上で、アセアンのビザフリー等の可能性、取り組みについて＞ 8：30</p>	<p>基調講演：H.E.Kobkarn Wattanavrangkul, Minister of Tourism and Sports, Kingdom of Thailand</p> <p>パネリスト： H.E Wanda Corazon Teo, Secretary of Tourism, Philippines Arun Mishra, Regional Director ICAO Asia &amp; Pacific office H.E Mas Ermieyati Samsudin, Deputy Minister of Tourism and Culture, Malaysia H.E.Arief Yahya, Minister of Tourism, Indonesia Moderator, Linda Yueh</p>
<p>デジタル化した国境-セキュリティと旅行関連施設の効率化とのバランス ＜ボーダーコントロールのデジタル化の可能性、取り組みについて＞ 9：15</p>	<p>H.E.Najib Balala, Cabinet Secretary for Tourism, Government of Kenya Sean Donohue, CEO, Dallas Fort Worth International Airport Catharina Eklof, Senior Vice President, Global Enterprise Development, Mastercard LEE Hyuk, Regional Specialized Officer Iterpol Zubin Karkaria CEO, KUONI Group &amp; CEO VFS Global Moderator Nick Ross</p>
<p>押し寄せる波 -危機に対処する力 - ＜テロ、自然災害、伝染病等、ツーリズムに対する脅威の対処について＞ 9：55</p>	<p>基調講演：Robert Jensen, CEO, Kenyon International Emergency Service</p> <p>Peter Fankhauser, Group Chief Executive Officer, Thomas Cook Group Jeffrey C Rutledge, Chief Executive Officer, AIG Travel Rakesh Sarna, Managing Director &amp; CEO Indian Hotels Company Moderator :Nick Ross</p>



<p>人々や地域を守る・ツーリズムは、より良い方向に多く貢献出来るか？          &lt;将来のツーリズムの姿、持続的な成長のための戦略等&gt;          11：00</p>	<p>H.E. Edmund Barlett, Minister of Tourism ,Jamaica          Maria Damanaki, Global Managing Director, Oceans The Nature Conservancy          Alex Dichter, Senior Partner, Mckinsey &amp; Company          Christine Duffy, President, Carnival Cruise Line          T.P.Singh Deputy Regional Director Asia,International Union for Conservation of Nature(IUCN)          Moderator :Stephen Sackur</p>
<p>リーダーの展望：          Part2          &lt;2030年の世界の姿は？ SDG's 達成に向けてのツーリズムの役割は？&gt;          11：50</p>	<p>SDG#2:ZeroHunger          Philippe Gombert, President International, Chairman of the Board, Relais &amp; Chateau          SDG#5:Gender Equality          Stefanie D Miller, Senior Vice President, Strategic Partnership Marketing, The Coca-Cola Company          SDG#7:Affordable&amp; Clean energy          Keisuke Okada, Senior Executive Advisor, ANA Holdings Inc          SDG#15 Life on Land          Brett Tollman, Chief Executive, The Travel Corporation</p>
<p>明日のツーリズム          (基調講演)          12：00</p>	<p>John E Scanlon, Secretary General, Convention of International Trade in Endangered Species(CITES)</p>
<p>明日のツーリズム          表彰          12：15</p>	<p>Fiona Jeffery, Founder &amp; Chairman ,Just a Drop and Chair,          Tourisma for Tomorrow Awards          Jeffrey C Rutledge, Chief Executive Officer, AIG Travel</p>
<p>責任と行動の          リーダーシップ          14：30</p>	<p>Tony Fernandes, Group Chief Executive Officer, AirAsia</p>
<p>橋渡し          14：50</p>	<p>Roger Dow, CEO, US Travel Association</p>
<p>将来の役割          -旅行、ツーリズムは、その用意が出来ているか-          &lt;ツーリズムの雇用への影響、新しい働き方の中での雇用のあり方等&gt;          14：55</p>	<p>基調講演：April Rinne, Global Authority on the Gig Economy and Future of Work          Mark Hoplamazian, President &amp; CEO, Hyatt Hotels Corporation          Tomoko Nishimoto, Assistant Director-General &amp; Regional Director, Asia and the Pacific, International Labour Officer(ILO)          Kike Sarasola, President and Founder, Room Mate Hotels &amp; BeMate.com          Moderator :Linda Yueh</p>

<p>リーダーの展望 Part3 ＜2030年の世界の姿は？ SDG's 達成に向けてのツーリズムの役割は？＞ 15：40</p>	<p>SDG#11:Sustainable Cities and Communities Adam Weissenberg, Global Leader, Travel, Hospitality &amp; Leisure, Deloitte &amp; Touche LLP SDG#9:Industry,Innovation &amp; Infrastructure Dee K Waddell, General Manager, IBM, Travel &amp; Transportation Industry, IBM SDG#14:Life Below Water H.E.Thong Khon, Minister of Tourism, Cambodia</p>
<p>変化する現実 -新しい機会- ＜テクノロジーの進歩とツーリズムについて＞ 15：50</p>	<p>空の上から世界を守る Lian Pin Koh, Founding Director, Conservation Drones.org:and Professor of Applied Ecology and Conservation. University of Adelaide 仮想現実の力を利用して Nick Mattera, Senior Director of Digital Engagement, Las Vegas Convention and Visitors Authority(LVCVA) Rob Torres, Managing Director for Travel, Google</p>
<p>将来の旅行者・ビジネス トラベル ＜25%を占めるビジネス トラベルのあり方、可能性＞ 16：40</p>	<p>Douglas Anderson, CEO, American Express Global Business Travel Kurt Ekert, President &amp; CEO, Carlson Wagonlit Travel Masaru Onishi, Chairman, Japan Airlines Gordon Wilson President &amp; CEO, Travelport Moderator:Stephen Sackur</p>
<p>将来の旅行者・贅沢 旅行＜贅沢旅行の現状、 将来性について＞ 17：10</p>	<p>Chadatip Chutrakul, CEO, Siam Piwat Co.LTD. Clement Kwok, Managing Director &amp; CEO, Hongkong &amp; Shanghai Hotels Manfredi Lefebvre d'Ovidio di Balsorano de Clunieres, Chairman, Silversea Cruises Moderator :Peter Greenberg</p>
<p>終了式 17：40</p>	

## (2) 会議の主な概要

### 1.開会のスピーチ概要

スピーカー：Gerald Lawless(Chairman of WTTC)

内容：タイの首相、観光スポーツ省、タイコンベンションビューロー、タイ航空のスポンサーシップについて感謝の言葉。タイは、年間 32 百万人の外国人観光者を昨年度に受け入れ、経済の 20%の消費額を占めており、観光業の伸びも年間 6%となっている。2017 年は、持続的成長の時代。キーワードは、テクノロジーとツーリズム、Tolerance(寛容)、efficiency(効率化)が重要。Inequality (不平等) への取り組みが課題となっている。

スピーカー：タリブ・リファイ (UNWTO 事務局長)

内容：世界の「コミュニティ」の中で、お互いへの理解を増やすことが大切。キーワードは、①Security(安全) ②Technology(技術) ③2017年の平和の構築 社会、文化、人々への「尊敬」自信、親切→笑顔がツーリズムによって、生みだされる。世界のコミュニティの中で、お互いを認め合うことが大切。そのためには、社会、文化、人々への尊敬の念を持つことが大切。

スピーカー：タイ王国首相

内容：皆が自由にいける権利タイは、アセアンの中で、観光のハブになれるポテンシャルがある。全世界で、2億9千万人の雇用(全世界の雇用の10.2%)を占める。アセアン全体では、6億2千万の人口があり。2016年のvisitアセアン@50（アセアン50周年ツーリズムイベント）もあり年間1億2千万人の観光客の受け入れ、29兆バーツの観光消費を生み出した。タイ、ミャンマー、ベトナムは、国民性としてホスピタリティと寛容性がありツーリズムの発展に貢献出来る国である。

スピーカー：David Scowsill(President & CEO WTTC)

内容：「ツーリズムに対して、期待が大きすぎるか？」という問いかけで、話が始まる。

900以上の、ツーリズムをリードする官民の人材に、どの様に“Transforming Our World”「世界を変えていく」かの議論を始めることを促す。

貧困の絶滅、海の浄化、生息する個体の保存等に、観光セクターが、率先して取り組んでいくことを呼びかける。

観光が、7.6兆ドルの消費、2億9千2百万人の雇用を年間生み出し、過去6年間、経済全体の伸び率を上回っている。

国連のSDG's（持続的開発目標）17の内、ツーリズムは3つの目標に焦点を当て、達成に貢献する。

私達は、今、政治の再編を目の当たりにしている。私達がこの50年間享受してきた発展は、すべての人間が利益を享受してきたわけではない。いくつかの政府は、私達が基本としてきた、人、ものの往来の自由に対して、疑問を投げかけている。

テロや、自然災害に直面しても、旅、ツーリズムは「強さ」を示している。

人種、宗教を分断する恐怖が、個人の特性を否定するという状況の中で、旅が世界をより良く、平和にし、異なる文化を越えた出会いが、良い方向への変革を生み出すと信じている。

旅は、一部の人々のものではない。その美しさは、すべての人々のものであり、具体的な旅の権利は、性、宗教等には関係なく、すべての人間が持つものである。

観光セクターは、世界の平和で包括的な期待の中で、大きな役割を果たしつつある。我々には、責任ある行動が、望まれている。

“Is it too much to ask?” 「期待は、大きすぎるのか？」キャンペーンの中で、  
個々人の行動の集まりが、世界を買いえていくことになるでしょう。

## 2. 基調講演

スピーカー：David Cameron（前英国首相）

タイトル： 変容する国家

-グローバル化は、成し遂げることが出来ているか？-

主旨：世界の政治のリーダーが、世界の現状について展望を示します。  
ポピュリズムの台頭、保護主義の潮流、新しく台頭する経済へ力が  
シフトしている時に、世界の外交が直面する課題、移民の問題、経済発  
展とグローバル化、持続的な発展の未来に向けての政府と産業界の役割  
等。

内容：現状、ツーリズムが、“Transformational” 「世界を変え得る」 にも関  
わらず、過小評価されているという現実がある。在任中には、ツーリ  
ズムを重視しており、“Britain Is Great” というキャンペーンを行い 1.2 億  
ポンドの予算をかけて取り組んだ。

イギリスでもロンドンに観光客が集中しており、沿岸部、ウェールズ、ス  
コットランドなどの観光地は、まだ十分開発されていない。

グローバリゼーションについては、恩恵を受けていない人々がいるこ  
とが問題。また、急激な移民の増加に、意識が追いついていない。“Brexit”  
トランプ政権への支持は、このことが背景にある。

安全については、政府と観光業界が話し合いを行い、テクノロジーを駆  
使して情報を共有化することなどが、有効である。（※バイオメトリック  
ス<sup>1</sup>の技術等）

ビザ条件の緩和も、ツーリズムの促進に寄与する。イギリスは、中国マー  
ケットの取り組みでビザ緩和を行ったが、大きな効果があり。

安全は、ツーリズムにとっては、最も大事なキーワードだが、英国では首  
相が先頭に立ち、コミッティを立ち上げ、国内外での情報収集、連携強化  
を行った。

今後も、政府機関とツーリズム産業の連携が必要。



<sup>1</sup> バイオメトリックスは、生体認証と呼ばれ人間の身体的特徴や、行動的特徴によって個人認証を行う技術。

## 3. セッション（主なテーマ、スピーチ内容を抜粋）

タイトル：世界を変容させる-持続的な発展のための世界の課題-

スピーカー：Ian Goldin（オックスフォード大学教授）

Keith Tuffley（The B Team Managing partner & CEO）

主旨：止まらない人口増の社会背景の中で、2030年には、私たちの世界は、どの様な形になっているのか？ 私達が認識しなければならない人口動態の変化とは何か？ 不平等は、どこに表れているのか？ 皆が恩恵を受ける経済発展のためには、何が必要か？ 国連の持続的な発展目標（SDGs）のために産業界が果たす役割は？ その中で、特に旅やツーリズムが果たす役割は？

内容：（ゴールドフィン教授）グローバル化自体は、27年前から始まっているが、最近急速に、グローバル化、情報革命が進んだ一方で、“Butterfly defect”<sup>2</sup>と呼ばれるマイナス面出てきている。特に急速なグローバル化の中で、に取り残された人々が出てきている。

500年前のフィレンツを中心としたルネッサンス時代も、急速な自由が進んだ一方で、その後の戦乱等悲劇的な時代を迎えることとなる。

ベルリンの壁が崩壊した1980年と比べて、教育の普及が目覚しく、WEBの利用者5億人から60億人と飛躍的な伸びている。

すべての変化の中で、2030年に向けてマイナス面の影響についても考える必要がある。

（タフリー氏）持続的な成長のためには、国連の持続的な成長の理念に基づき、温暖化の状況の中で、珊瑚の保護等について考える必要がある。海面の上昇、珊瑚の消失は、明らかにスキーリゾート、海洋リゾートの影響ということで、今後のツーリズムについてマイナスとなっている。国連の17のSTG'sと969のターゲット達成に向けて進んでいく必要がある。「ビジネスを適切に進めていくことが、より良い世界を生み出していくことである。」と信じている。

タイトル：ナショナリズム台頭の時代におけるグローバル化とは？

スピーカー：Arne Sorensen（マリオットインターナショナル CEO）

主旨：世界は、ナショナリズムの台頭の中にあり、多くの人々が内向きの指向を持ち、世界とのかかわりを避ける傾向にある。グローバルであることが不可欠なツーリズムが、ナショナリズムの弊害を減らすためには、何が出来るか？

内容：今回のホスト国であるタイ国は、理想的な観光地で、どんなに辛口の旅行者も、決してタイ国を悪く言うことはない。ツーリズムの意義は、世界を改革する力を持っているとともに、人々を結びつけること

<sup>2</sup> Butterfly defect とは、イスラエルの教育メディア学者ガブリエル・サロモン（1938-）によって呼ばれた現象で、WEBの様なメディアで誰もがフラフラと飛び回ってしまうだけで、落ち着いて深い思考や学びが出来なくなる危険性があることを意味する。

が出来ること、また雇用を生み出していることである。ブリックス、トランプと世界は、グローバリズムへの反動として、分断主義がこの7年～8年間深刻となっており他者をどの様に助けるかという意識が必要である。2つの重要なことがある。1. 脅かされてる安全に対する対策をどうするか。2. 旅行と移民は、別物であるということである。ツーリズムのデータは、移民関連のデータにも活用することが出来る。今後必要なことは、政府と産業会が協力してこの様なデータを共有化していくことである。

タイトル：旅の自由-アセアンは、その先駆となり得るのか-

基調スピーチ：H.E Kobkarn Wattanavrangkul (Minister of Tourism and Sports, Kingdom of Thailand)

主旨：WTTC の戦略的なキャンペーン「旅行をする自由」を ASEAN という視点から、考察する。官民からのリーダーが、連携を強める機会と課題について議論する。内外ともに地域をつなぐ航空路線の役割は？航空路線の自由化が、その解決策か？その場合の軋轢等は？アセアン域内の統一ビザは、今後実現可能か？

内容：アセアン地域は、人口が6億2千9百万人であり、この10年間にツーリズムの分野は、毎年6.5%の成長をすると見られており、世界で最も成長が著しい地域である。域内のツーリズムパッケージも多く生まれている。タイのツーリズムに関しては、昨年約3千2百万人のインバウンド客を受け入れ、食、買い物、リゾート、美容医療等の分野があり、大都市のみでなく、地方都市も重要な観光地となっている。低いコストの航空路線が、この様な都市間のみではなく地域の観光地の成長にも寄与しており、アセアン域内との航空路線も、ミャンマーとの間で、週299路線を始め、多くの便を運行している。

高速鉄道、クルーズ、又メコン川がミャンマー、カンボジアと結ぶ重要な交通路線ともなっている。

セキュリティについても、政府がコミッティを立ち上げて対応しており、旅行者の快適面についても官民上げて、空港の拡張、アクセスの対応を行っている。

この様な施策を、タイの前国王も次世代の持続的な成長のために必要であると考えていた。

ツーリズムは経済に大きな影響を与え、人々をもてなし、平和を築く責任があると考えています。

ASEAN の10の国全部に最終的に利益をもたらす10の WINS となれることが望ましいと考えています。

パネル討議参加者：H.E wanda Corazon Teo（フィリピン観光省次官）

Arun Mishra (ICAO アジア太平洋地域統括部長)

H.E Mas Ermieyati Samsudin (マレーシア観光文化庁副)

大臣)

H.E Arief Yahya(インドネシア観光大臣)

モデレーター：Linda Yueh

内容ポイント：EU の様な統一経済圏となり得るか

PPT(官民連携)が重要

域内の統一の基準について

#### 4. 日本人登壇者

スピーカー：田川会長（JTB）

内容：SDG（国連の持続的開発目標）# 1 貧困の撲滅をテーマにスピーチ。特に、地域観光開発の重要性を強調し、雇用の創出、地域の文化、生活をツーリズムを通してアピールすることが、地域の自信にもつながり、貧困解決の一つのキーと成りうる。

スピーカ：岡田顧問（ANA）

内容：SDG # 7（安価でクリーンなエネルギー）を主題に、ボーイング 787（ドリームライナー）を世界で、ANA が初めて導入した話から、環境に配慮した航空機普及の夢を語り、ツーリズムにおける環境の大切さを強調する。観光においては、航空路線のみならず、着地の交通インフラも重要である。東京のかつての渋滞の状況が改善され、交通インフラを含めてモデルとなり得ると考えている。

パネリスト：大西会長（JAL）

内容：ビジネス旅行の将来性、航空会社としての今後の戦略がテーマとなっていたが、ビジネスマーケットにおいても、ホスピタリティ（快適な空間）の重要性を強調。JAL としては、ビジネスマーケットは全体の 23%であり、収益もレジャーマーケットに比べても 7%高く重要なセグメントであり、外部環境に影響を受けにくく安定している市場であると認識している。

## 5. その他

## 明日のツーリズムアワード 2017年受賞者

賞の名称	受賞者	概要
Community Award	Ol Peteja Conservancy, Kenya	ケニアにおけるコミュニティ開発の事業、自然保護の活動が評価された。
Destination Award	Chobe, Makgadikagadi, and Okvango delta Ramar site, Botswana Tourism Organization, Botswana	現地ツアー、宿泊施設、サファリーツアーなどの、ボツワナのチョーベのユニークな観光地開発が評価された。
Environment Award	Misool, Indonesia	インドネシアの個人所有のアイランドリゾートで自然保護センターも併設されている。世界で最も美しい珊瑚を守り続けている活動が評価された。
Innovation Award	Mapping Ocean Wealth, The Nature Conservancy, USA	海洋環境の科学的なデータを海洋リゾート開発者に提供、その取り組みが評価された。
People Award	The J. Willard and Alice S. Marriott Foundation's China Hospitality Education Initiative (CHED), China	中国本土で、ホスピタリティ教育のプログラムを提供しているマリオット財団の取り組みが評価された。

## 2.2 専門家部会及び、プレスコンファレンス

## (1) 目的

WTTCは、会議出席者と講演者との意見交換の場を設けることが非常に大切であると考えており、その場は、本会議が行われている間に行う必要があり、講演者により多くの聴衆と、プレスコンファレンスと専門部会において会う機会を与えることを目的としている。

## 議題及び講演者

4月26日（水）

9:00-9:40	官民連携による、持続的なツーリズム発展について	Honourable Edmund Bartlett, Minister of Tourism, Jamaica Dr. Taleb Rifai, Secretary General, UNWTO Mr. GE Huayong, CEO of Union Pay
9:45-10:25	持続的なダッシ	Prof Susanne Becken, Griffith University Prof Graham Miller, University of Surrey Rochelle Turner, Research Director, WTTC



	ユボード <sup>3</sup> ラウンチ	Lucas Bobes, Amadeus Mario Hardy, CEO, PATA
11:15- 11:55	タイ国-発展し続けるビジネスの地	Mr Nopparat Maythaveekulchai, President, Thailand Convention and Exhibition Bureau(TCEB) Ms Supawan Teerarat, Vice President, Strategic and Business Development, TCEB Mr Talun Theng, President of Thai Exhibition Association (TEA) Thailand Incentive and Convention Association(TICA)
12:15- 12:45	挑戦し続ける、旅行、ツーリズムセクター	Olivier Jager, CEO, Forwardkeys Laurens van den Oever, Chief Marketing Officer, Forwardkeys
15:15- 15:40	世界的な視点から	Ian Goldin, Professor of Globalisation and Development, University of Oxford Keith Tuffley, Managing Partner & CEO, The B Team

## 4月27日（木）

7:30- 8:30	プレスコンファレンス-日本の現状	Hiromi Tagawa, Chairman of the Board, JTB Corp. Masaru Onishi, Chairman, Japan Airlines Keisuke Okada, Special Advisor to the Chairman, ANA Holdings Inc. Hideaki Kuroda, General Manager, Tourism Strategy Office, East Japan Railway Company Victor Osumi, General Manager, Business Strategy Department II, Corporate Planning Division, Seibu Holdings Inc. Koremitsu Sannomiya Deputy Chariman, JCB international co.,Ltd. Yuji Iida, Director Office of International Tourism Japan National Tourism Organaization Michinori Yamasaki Executive Vice President Japan National Tourism Organization Yasuto Kawarabayashi, Vice Commssioner, the Japan Tourism Agency Hirofumi Miyake, Minister-Counsellor, Embassy of Japan in Tahiland
---------------	------------------	---

<sup>3</sup>ここで言及されているダッシュボードとは、国や民間企業等が提供している主要な統計データをグラフ等に加工して一覧表示し、視覚的に分かりやすく、簡単に利用できる形で提供するシステム

10：30- 11：00	安全と危機管理 について	Robert Jensen, CEO Kenyon International Emergency Services Peter Fankhauser, Group Chief Executive Officer, Thomas Cook Group
13：15- 13：45	航空会社につい て	Tony Fernandes, Group Chief Executive Officer, Air Asia Gary Chapman, President Group Services & dnata, Emirates Group
14：00 14：30	明日のツーリス ム表彰	2017 Tourism for Tomorrow Awards Winners
16：10- 16：40	デジタルのダウ ンロード	April Rinne, Global Authority on the Gig Economy and Future of Work Rob Torres, Managing Director for Travel, Google Kike Sarasola, President and Founder, Room Mate Hotels & Bemate.com

## （2）日本側主催のプレスコンファレンスについて

1. 日時： 2017年4月27日（木）現地時間 午前7：00～8：30
2. 会場： the Meet the Experts room(Lotus 7)
3. 参加者： メディア関連 約40名 その他関係者合わせて60名あまり
4. 登壇者（順不同、敬称略）：飯田副センター長（JATA）、岡田顧問（ANA）、大隅部長（西武）、大西会長（JAL）、瓦林審議官（観光庁）、三宅公使（バンコク日本大使館）、田川会長（JTB）、山崎理事（JNTO）、三宮社長（JCBI）、黒田室長（JR）
5. 司会 中村室長（JTTA）
6. 当日進行：
  - 0700-0730 ネットワーキング朝食会（会場内）
  - 0730-0735 田川会長（WTTC副会長）より挨拶
  - 0735-0750 瓦林審議官（観光庁）よりプレゼンテーション
  - 0750-0825 Q&Aセッション
  - 0825-0830 田川会長（WTTC副会長）より終了の挨拶
7. スピーチ内容及び、Q&A内容
  - 1) 田川会長始まりの挨拶
    - ・WTTCの副会長として御礼の挨拶

- ・交流については、世界的に良くない状況
- ・この状況を旅の業界としては、改善したい
- ・地域の文化、現地の人々との交流について考える時
- ・2019年ワールドカップラグビー、2020年オリンピック、パラリンピックを機会に、しっかり交流文化、文化遺産をきちっと伝えていきたい

## 2) 瓦林審議官プレゼン

- ・2016年のインバウンドは、24百万人達成。（前年比25%増）  
伸びは鈍化しているが、今年も延びている。
- ・全体の75%を、中国、韓国、香港からの訪問客で占めている。
- ・米国・カナダ・オーストラリアの割合が少ない。
- ・他の省庁との協力
  1. 公共施設の整備（迎賓館の整備、国立公園の整備等）
  2. 制限の緩和、法整備（民泊の法的整備等）
  3. ストレスフリーの環境の整備（出入国管理等）
- ・地域のインバウンド観光促進にも力を入れている。

## 3) Q&Aセッション（回答 瓦林審議官、JNTO山崎理事、その他）

### Q1. David Bernab(Australia) ETB travel news

プロモーション、マーケティング予算、優先の国、方法等？

A: JNTOの予算は、2015年（100億円）に対して、今年度は2倍となっている。

かつては、限られた予算でアジアのマーケットが中心であったが、現在はアメリカ、ヨーロッパ等で新しいキャンペーン行っている。（日本にまだ相対的に興味の少ないマーケットをターゲットにする。）（観光庁）

I-phoneを使ったコミュニケーション等を活用している。SNS等による発信を行っている。（JNTO）

マーケットの手段として、ビッグデータのみならず、ホテル、クレジット会社のデータ等も活用している。（JNTO）

### <Martin Barrow氏（観光庁認定ビジットジャパン大使）よりコメントあり>

- ・素晴らしいプレゼンテーションである。
- ・日本は、他国と比較しても素晴らしい観光地であり、特に推薦したい。
- ・観光客数の推移を含めて、素晴らしい推移であり、賞賛に値する。

Q2. Billy Kobler(USA) Man About World Magazine

LGBT（性的マイノリティ）のマーケットについての取り組みについて

ロサンジェルス観光客の全消費額の6%、人数は8%は、LGBTマーケットが占めているというデータもあり。この様な多様なマーケットに対して何らかの戦略は、あるのか？

A: この1月～3月までのインバウンド客6.5百万人の、日本での観光に際しての関心（スポーツ、文化等）の分析を現在JNTOで行っている。いろいろな関心を持っている層の中の一つの分野としてLGBTマーケットも考えている。（JNTO）

航空会社のマイレッジシステムのサービス提供メニューも家族向け等顧客の様々な興味、嗜好を考慮している。（JAL）

Q3. Ms.Emma Winchrch-Beale(UK) The Washington Post

航空会社等のマーケットの多様化(宗教、文化背景)に対応した取り組み、戦略は？ U.S、オーストラリアのマーケットに対しては、その様な戦略があるのか？

A: 多様化に対する取り組みとしては、航空業界のみならず、あらゆる産業に亘るという認識。重点としては、既に日本に興味を持っている層から、まだ日本を良く知らない層にシフトして来ている。（観光庁）

オリパラの2020年に向かって、またその後を見据えて、アメリカであれば、会議等のMICE、オーストラリアのマーケットにはスキーリゾート等の紹介等のプロモーションが考えられる。（プリンスホテル）

JNTOは、アメリカ、シドニーの事務所で、言及された様な地域のプロモーション活動を行っている。（JNTO）

Q4: Mr.マツエル IBM

2020年に向けて、日本はプロモーションに向けての最大の好機であると考えられると思いますが、日本の外にいる人間としては何かお手伝いをすることがありますか？

A: 東京は、交通機関、電車等も含めてとても便利な場所であり、その様な状況を、発信してほしい。（ANA）

Q5: Mr.Surasit Leelaprachakul(Thailand) Travel Channel

日本のポップカルチャー、映画文化に対するタイ人の関心はとても高いが、日本でのチケットの入手に関しては、とても大変な現状があります。

その種のものを取り扱っている、組織はありますか？ これらの文化に対するオンラインによるアクセスの状況については？

A：ポップカルチャーは、日本に来る外国人のとても大きなモチベーションであると考えており、ソーシャルメディアを含めた発信を行っており、今後の戦略の柱であると考えている。メディア、映画関係業界の人々とも観光庁として議論を始めている。（観光庁）

Q6: Ms.Lindsay Lewis/Liu(China) Freelance/Big Worldwide Film & TV  
アジアマーケットについては、映画や、TVは、非常に宣伝のための効果のある手段であると考えます。UKマーケットについては、何か取り組みを行っていますか？

A：UKマーケットは、新しいマーケットとしての位置づけで、啓蒙活動や露出を増やすことが大事であると考えている。他のヨーロッパマーケット同様新しい、マーケット戦略、手法を検討している。（観光庁）

映画や、TVも重要であるが、特にデジタルマーケットに焦点を当てており、SNSが重要であると考えている。（JNTO）

Q7: ムゼンビ観光大臣（ジンバブエ）アフリカは、2016年は11億人、2020年には、人口が14億、2050年には、全世界の20%を占めるまでになると予想されており、重要なマーケットであると考えられるが。

A: アフリカも大きなポテンシャルのある地域であると観光庁としても考えている。現在JNTOとして、20カ国以上のマーケティングを行っているが、それ以外にも今後のポテンシャルのある地域については、調査を始めている。（JNTO）

南アフリカ航空も就航しており、日本の航空会社とのネットワークもあり日本へのアクセスも可能である。クルーズ客船も運航している。（JAL）

Q8: Ms.Katy Xu(Hong Kong) BBC advertising

東京、京都、ニセコ等人気のある観光地以外で、日本の中で、特にお勧めの魅力的な都市は？

観光分野において、新しく仕事を作りだすための目標は？

A：日本には、魅力的な都市も多く、誘致活動を一步一步取り組んでいきたい。（観光庁）

JNTO として、新しい 31 の広域観光ルートプロモーションしている。

（JNTO）

観光業が、雇用の機会を与えるということは、重要であると考えている。地域においては、高齢化が進み、人口が減少しており、仕事を作り出すというより、労働力の不足の方が問題となっている。（観光庁）

ニセコ以外にも、新潟、長野等素晴らしい、スキーリゾートもある。

（プリンスホテル）

4) 田川会長、終了の挨拶

- ・ 来場御礼の挨拶
- ・ 今年はタイ日本就航 130 年の記念の年である。前国王の喪中であるが、それを乗り越えて、相互の交流を促進していきたい。
- ・ 2020 年のパラリンピック・オリンピックに向けて日本の地域が素晴らしいことをアピールしていきたい。特に地域の文化や、文化遺産を紹介していきたいと考えているので、皆様も注目していただきたい。
- ・ アフリカも重要なマーケットであると考えている。



### （3）その他

#### 1. David Scowsill 氏の退任

2010年10月から6年間、WTTCのCEOとして

従事された David Scowsill 氏が 2017年6月に退任をするというアナウンスがあり。

#### 2. 2018年開催地

アルゼンチンのブエノスアイレスで、2018年の大会が行われるというアナウンスがあり。

## 3. 会議総括

### 3.1 本会議

持続的成長というテーマが一貫しており、時代の要請にあった内容でまとまっていた。中国のプレゼンスが高く、注目を浴びていたが、今後日本の取り組みを一つのセッションで取り上げてもらえる可能性はないかが課題。

### 3.2 プレスコンファレンス

60名以上が集まり、関心の高さが伺える。2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック、パラリンピック等の紹介や、ショッピングツーリズムの紹介等、日本の観光の旬の情報を、現地メディアと共有する良い機会であった。また、今回の日本側の登壇者も、観光庁、JNTO、旅行会社、航空会社、ホテル等官民で構成され、それぞれの立場からプレゼンが出来たことは意義があった。

メディア関連は、コマーシャル系のメディアが多かったが、報道系の関係者をもっと増やすことは可能か検討の余地があり。

### 3.3 その他

今回の会議は、日本から近いアジアでの開催であったこともあり、60名近くの日本からの参加者があった。世界各国から、ツーリズムの関係者、メディア等が集まり、意見交換の場もあり、日本のツーリズムの取り組みの紹介、各国の先進事例を知る良い機会であった。

アワードへの応募等、日本のプレゼンスを高める方法を模索することが必要。